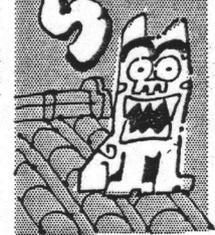


復帰15周年

沖繩から



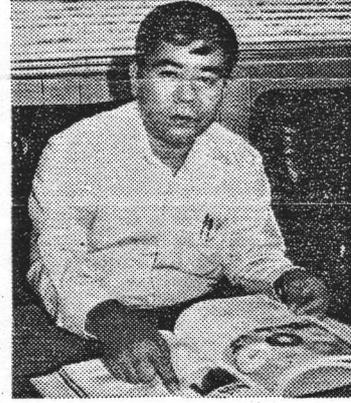
● 11 ●

何かにつけて本土から「運 あった」。 狩俣さんは宮古島生まれ。 糸が、むしろ断然リードし 十七年間、外国商社に勤め、 海外勤務十三年。子供の教育 を考えて日本の商社に転じ た。「三十代で三百坪の土地 に四十五坪の家。そこに家族 四人。まあ、成功した部類で は……」

約六年前、大手商社の那覇 支店に勤務していた時のこと だ。レポートは、本土では最 近ようやく注目され始めたア スベスト(石綿)汚染への取 り組みを提言した。失業の きっかけになったが、それ は「石綿封じ込め技術の国内 第一人者」へのスタートでも

石綿汚染

対策に先陣、本土も注目



「建材メーカーも、ようやく石綿 に代わる新素材を出し始めた」と パンフレットを示す狩俣さん

に乗ったのは「二年」と言 を集めた。本土でも今年、東 京体育館・プールの解体をめ ぐる石綿汚染、大阪大学工学 部研究棟に石綿が使われ一部 がはげ落ちるなどしていた事 実が問題化。労働省、環境庁 が法整備に動き出した。

石綿問題を知る。それが、リ ポートと失業につながる。四 年余りの年月をかけ、医療、 撤去技術・機材など石綿に関 するあらゆる情報をかき集め た。たった一本の英国製ビデオ に八百万円を投じたこと も。米国にも渡り、ハーバード大の講習を受けて撤去技術 のライセンスも得た。「家も土地も売り払っての 賭(か)けでした。家族の理 解があったからこそできたこ とです」と静かに笑う。

21でサヨナラ勝ち。十八 日は第一試合2-4と敗れた

21でサヨナラ勝ち。十八 日は第一試合2-4と敗れた 移籍組の活躍に伊藤健治・監 続を残せるか。再生J.Rも、野球に続き好成績を残せるか。深夜、会期を十九日までと決 出していることに反発する 公明と、昨年の市長選で現市